

# I 障害福祉サービス等の進捗状況

## 1 訪問系サービス

ホームヘルパーが障がい者宅において身体の介護や家事の援助、また、外出時の移動の支援を行うサービスです。障がいの程度や利用目的の違いにより、5つのサービスがあります。

### 【居宅介護】

ヘルパーが家庭を訪問し、身体の介護や家事の援助を行うサービス

### 【重度訪問介護】

常時介護を必要とする重度の障がい者に、入浴、排せつ、食事の介護や外出時の移動など、総合的な介護を行うサービス

### 【同行援護】

重度の視覚障がい者に対して、外出時の支援を行うサービス

### 【行動援護】

常時介護を必要とする障がい者の外出時、危険回避するために移動の介護を行うサービス

### 【重度障害者等包括支援】

介護の必要性がとくに高い人に、居宅介護等複数のサービスを包括的に提供するサービス

(数値目標)

平成24年度以降の利用者数及び利用量の見込みについては、入所施設や精神科病院からの地域生活への移行が進められており、それに伴い、今後もサービス利用者は増加するものと考えられることから、各サービスの過去3箇年(平成21～23年度)の伸び率を見込んで算出しています。

なお、重度障害者等包括支援については、23年度の利用者はおりませんが、24年度以降は、新規利用者1名を見込んでいます。

(進捗状況)

	単位	H24 計画	H24 実績	達成率	H25 計画	H25 実績	達成率	H26 計画
利用者数	人	454	479	105.5	477	518	108.6	501
利用量	時間/月	10,865	10,791	99.3	11,502	11,521	100.2	12,154

〔傾向〕

平成24年度、平成25年度ともに、概ね計画どおり推移していますが、利用者数、利用量は徐々に増加している傾向にあります。

## 2 日中活動系サービス

### (1) 生活介護

常に介護を必要とする人に、日中活動の場として、入浴、排せつ、食事の介護等を行うとともに、創作的活動または生産活動の機会を提供するサービスです。

(数値目標)

平成 23～平成 24 年度の増分については、旧法施設から新体系へ移行する施設があることから、利用者数等が大きく増加しています。また、平成 24 年度以降の特別支援学校の卒業生についても約半数が生活介護を利用するものと見込んでいます。

(進捗状況)

	単位	H24 計画	H24 実績	達成率	H25 計画	H25 実績	達成率	H26 計画
利用者数	人	719	718	99.9	740	741	100.1	767
利用量	日／月	13,542	12,355	91.2	13,835	13,051	94.3	14,223
箇所数	箇所	25	22	88.0	26	23	88.5	26

[傾向]

平成 24 年度、平成 25 年度ともに、概ね計画どおり推移していますが、利用者数、利用量は徐々に増加している傾向にあります。また、箇所数は、計画をやや下回っています。

## (2) 自立訓練（宿泊型自立訓練含む）

自立した日常生活ができるよう、一定期間、身体機能または生活能力の向上のために必要な訓練を行うサービスです。

（数値目標）

平成 24、25 年度については、利用者が大きく増減すると思われる要因がないことから、平成 23 年度と同数で見込んでおります。なお、平成 26 年度は、新たに 1 施設の増（定員 5 名分）を見込んでいます。

（進捗状況）

	単位	H24 計画	H24 実績	達成率	H25 計画	H25 実績	達成率	H26 計画
利用者数	人	53	64	120.8	53	58	109.4	58
利用量	日／月	1,087	893	82.2	1,087	859	79.0	1,218
箇所数	箇所	3	3	100.0	3	3	100.0	4

〔傾向〕

利用者数は、計画をやや上回っており、利用量は、計画をやや下回っていますが、利用者数、利用量ともに徐々に減少している傾向にあります。また、箇所数は、概ね計画どおり推移しています。

### (3) 就労移行支援

一般企業等への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行うサービスです。

(数値目標)

就労移行支援の見込み数については、今後、大きく増減する要因がないことから、平成 24 年度の 1 箇所（定員 10 名）増となる以降は、同数で見込んでいます。

(進捗状況)

	単位	H24 計画	H24 実績	達成率	H25 計画	H25 実績	達成率	H26 計画
利用者数	人	31	34	109.7	31	45	145.2	31
利用量	日／月	496	402	81.0	496	419	84.5	496
箇所数	箇所	3	3	100.0	3	4	133.3	3

〔傾向〕

利用者数は計画をやや上回っており、利用量は、計画をやや下回っていますが、箇所利用者数、利用量ともに徐々に増加している傾向にあります。また、箇所数は、概ね計画どおり推移しています。

#### (4) 就労継続支援A型

一般企業等での就労が困難な障がい者に対して、雇用契約に基づき、就労の機会を提供し、一般就労への移行を支援するサービスです。

(数値目標)

平成 25 年度に新規施設として 1 箇所の増の予定であり、利用者数については、定員 10 名の増、また、利用量については、一人あたりの平均利用日数 (19 日) をかけて算出しています。

(進捗状況)

	単位	H24 計画	H24 実績	達成率	H25 計画	H25 実績	達成率	H26 計画
利用者数	人	25	20	80.0	35	32	91.4	35
利用量	日/月	475	340	71.6	665	535	80.5	665
箇所数	箇所	2	2	100.0	3	2	66.7	3

〔傾向〕

平成 24 年度、平成 25 年度ともに、計画をやや下回っていますが、利用者数、利用量ともに徐々に増加している傾向にあります。

## (5) 就労継続支援B型

一般企業等での就労が困難な障がい者に対し、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。

(数値目標)

事業所ヒアリングによる各法人の施設整備の見込み及び特別支援学校卒業生等を勘案し、数値目標を設定しています。新規施設は、平成 24 年度は 1 施設、平成 25 年度も 1 施設の増を予定しています。

(進捗状況)

	単位	H24 計画	H24 実績	達成率	H25 計画	H25 実績	達成率	H26 計画
利用者数	人	517	570	110.3	577	578	100.2	610
利用量	日/月	8,789	8,790	100.0	9,812	9,115	92.9	10,377
箇所数	箇所	28	26	92.9	29	26	89.7	29

〔傾向〕

平成 24 年度、平成 25 年度ともに概ね計画どおり推移していますが、利用者数、利用量ともに徐々に増加している傾向にあります。また、箇所数は、計画をやや下回っており、箇所数は横ばいです。

## (6) 療養介護

医療と常時介護を必要とする人に、医療機関での機能訓練や療養上の管理、看護、介護等を行います。

(数値目標)

重症心身障害児施設の新体系移行に伴い、平成 24 年度に福島整肢療護園、いわき病院などから 55 名が移行することから、計 60 名が利用予定となっています。

(進捗状況)

	単位	H24 計画	H24 実績	達成率	H25 計画	H25 実績	達成率	H26 計画
利用者数	人	60	61	101.7	60	61	101.7	60

〔傾向〕

利用者数の増減がほとんどなく、概ね計画どおり推移しています。

## (7) 短期入所サービス

介護者が病気などの場合に、短期間、夜間も含め施設において、入浴、排せつ、食事の介護等を行います。

(数値目標)

平成 24 年度に定員 2 名の増を予定しており、平成 25 年度以降は同数の 49 名利用、利用量は 322 日と見込んでいます。

(進捗状況)

	単位	H24 計画	H24 実績	達成率	H25 計画	H25 実績	達成率	H26 計画
利用者数	人	49	129	263.3	49	143	291.8	49
利用量	日/月	322	382	118.6	322	432	134.2	322
箇所数	箇所	13	12	92.3	13	12	92.3	13

〔傾向〕

箇所数は、計画をやや下回っていますが、利用者数、利用量ともに計画を大きく上回っています。また、利用者数、利用量ともに徐々に増加している傾向にあります。

### 3 居住系サービス

#### (1) グループホーム等

一般住宅やアパート等において、障がい者が共同生活を行い、日常生活の相談や介護等を行います。

(数値目標)

地域生活移行が進むなか、精神科病院の退院者、入所施設からの利用者などの居住の場として、グループホーム等の整備は計画的に整備していく必要があります。平成24年度以降の新規利用者は各年33名が増加していくものと見込んでいます。

(進捗状況)

	単位	H24 計画	H24 実績	達成率	H25 計画	H25 実績	達成率	H26 計画
知的	人	229	213	93.0	244	225	92.2	259
精神	人	95	104	109.5	113	112	99.1	131
身体	人	—	—	—	—	—	—	—
合計	人	324	317	92.3	357	337	94.4	390

〔傾向〕

グループホーム等は、知的・精神ともに各年度33名の増加を見込んでいましたが、平成24年度、平成25年度ともに計画をやや下回っています。

## (2) 施設入所支援

入所施設において、夜間や休日、入浴、排せつ、食事等の介護を行います。

(数値目標)

新体系への移行が平成 23 年度に完了することから、平成 24 年度に 35 名が増加し、314 名となり、平成 25 年度以降の利用者数については、同数で推移するものと見込んでいます。

(進捗状況)

	単位	H24 計画	H24 実績	達成率	H25 計画	H25 実績	達成率	H26 計画
利用者数	人	314	321	102.2	314	328	104.5	314

※実績には、市外施設の利用者を含む。

[傾向]

利用者数にやや伸びがみられており、計画をやや上回っています。

#### 4 相談支援

知的障がいや精神障がいのため自ら適切なサービス調整ができない人や、極めて重度な身体障がいのため、サービス利用に必要な連絡、調整ができない人に対し、専門的な相談を実施するサービスです。

(数値目標)

相談支援については、平成 24 年 4 月からの法改正に伴い、計画相談支援（集中的支援）、地域移行支援、地域定着支援に分類されることとなっています。

計画相談支援については、平成 24 年度から 26 年度までの 3 箇年ですべての障害福祉サービス利用者（1,600 名）に対し、サービス利用計画を作成するものです。

地域移行支援については、居住の場の確保や地域生活移行のための相談業務であり、精神病院（40 名）、施設入所者（24 名）、家族同居（10 名）で設定をしています。

地域定着支援については、地域生活移行後の 24 時間の相談業務を行うもので、地域移行支援の 60%として設定しています。

(進捗状況)

	単位	H24 計画	H24 実績	達成率	H25 計画	H25 実績	達成率	H26 計画
計画相談 支援	人	500	268	53.6	500	761	152.2	600
地域移行 支援	人	74	6	8.1	74	2	2.7	74
地域定着 支援	人	44	0	0.0	44	0	0.0	44

[傾向]

計画相談支援は、平成 24 年度の対象者は、計画を大きく下回っていますが、平成 25 年度の対象者は、計画を大きく上回っており、対象者数は徐々に増加している傾向にあります。また、地域移行支援、地域定着支援ともに計画を大きく下回っています。

## **Ⅱ 地域生活支援事業の数値目標**

地域生活支援事業は、障害福祉サービスとは別に利用者負担の設定も含めて、市町村が地域の特性や利用者の状況に応じて柔軟に実施することができる事業です。

本市では、障がいのある人の地域での生活を支援するため、相談支援事業や地域活動支援センターなどの14事業を実施しています。

## 1 相談支援事業

障がいの種別に関わらず、障がい者等の福祉に関する各般の問題につき、障がい者からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言その他の障害福祉サービスの利用支援、障がい者の権利擁護など必要な支援を行います。

(数値目標)

一般的な相談支援については、6事業所(平成23年4月1日現在)に委託しております。また、専門的な知識・経験により相談支援事業所に助言を行う障害者特別サポート事業については、1事業所へ委託しております。

平成24年度以降についても現状の体制により、障がい者等からの相談業務を行い、地域生活の支援を行います。

(進捗状況)

	単位	H24 計画	H24 実績	達成率	H25 計画	H25 実績	達成率	H26 計画
障害者相談 支援事業	箇所	6	6	100.0	6	6	100.0	6
障害者特別 サポート事業	箇所	1	1	100.0	1	1	100.0	1

[傾向]

本市の相談支援事業所の箇所数は、概ね計画どおり推移しています。  
(なお、平成26年度から1事業所増)

## 2 コミュニケーション支援事業（現：意思疎通支援事業）

地域に聴覚障がい者の日常生活及び社会生活における意思の疎通を円滑にするために、手話通訳者及び要約筆記者の派遣等を行います。

（数値目標）

手話通訳者は、平成 24 年度以降も 2 名体制とし、登録手話通訳者派遣と要約筆記者派遣事業については、過去 3 箇年の最大値を平成 24 年度以降の件数として見込んでいます。

（進捗状況）

	単位	H24 計画	H24 実績	達成率	H25 計画	H25 実績	達成率	H26 計画
手話通訳者 設置事業	人	2	2	100.0	2	2	100.0	2
登録手話通訳者 派遣事業	件/月	25	23	92.0	25	19	76.0	25
要約筆記者 派遣事業	件/月	3	3	100.0	3	3	100.0	3

〔傾向〕

平成 25 年度の「登録手話通訳者派遣事業」の実績は、計画を下回っていますが、ほかの事業については、概ね計画どおり推移しています。

### 3 日常生活用具給付等事業

重度障がいのある人等に対して、身体介護を支援する介護・訓練支援用具や移動などの自立生活を支援する自立生活支援用具、また、ストーマ用装具などの排せつ管理を支援する排せつ管理支援用具など、日常生活上の便宜を図るための用具（日常生活用具）を給付する事業です。

（数値目標）

過去の実績から勘案し、平成 21 年度から平成 23 年度までの用具別件数の平均により、平成 24 年度以降の見込み数を算出しています。

（進捗状況）

	単位	H24 計画	H24 実績	達成率	H25 計画	H25 実績	達成率	H26 計画
介護・訓練支援用具	件/年	33	46	139.4	33	44	133.3	33
自立生活支援用具	件/年	101	93	92.1	101	93	92.1	101
在宅療養等支援用具	件/年	89	77	86.5	89	82	92.1	89
情報・意思疎通支援用具	件/年	91	108	118.7	91	92	101.1	91
排せつ管理支援用具	件/年	5,973	7,134	119.4	5,973	7,819	130.9	5,973
合計	件/年	6,287	7,458	118.6	6,287	8,130	129.3	6,287

〔傾向〕

日常生活用具給付事業のうち、「介護・訓練支援用具」、「自立生活支援用具」、「在宅療養等支援用具」、「情報・意思疎通支援用具」は、概ね計画どおり推移していますが、ストーマ装具等を給付する「排せつ管理支援用具」の給付実績が、計画を大きく上回って推移しています。

#### 4 移動支援事業

屋外での移動が困難な障がい者等が外出する際にヘルパーによる支援を行うことによって、障がい者等の地域における自立生活及び社会参加の促進を図ります。

(数値目標)

過年度の実績では、利用者及び利用時間ともに増加していることから、平成21年度から平成23年度までの伸び率をかけて、平成24年度以降の数値目標を算出しています。

(進捗状況)

	単位	H24 計画	H24 実績	達成率	H25 計画	H25 実績	達成率	H26 計画
利用者数	人/月	290	284	97.9	296	284	95.9	302
利 用 量	時間/月	3,190	2,803	87.9	3,256	2,635	80.9	3,322

[傾向]

利用者数は、概ね計画どおり推移していますが、利用量は、計画をやや下回っています。また、利用量は徐々に減少している傾向にあります。

## 5 地域活動支援センター事業

障がい者等を通わせ、地域の実情に応じ、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等の便宜を供与し、障がい者等の地域生活支援の促進を図ります。

(数値目標)

平成24年度に小規模作業所から2箇所移行予定であり、利用者数についても定員20名の増としています。7施設での定員120名で推移するものと見込んでいます。

(進捗状況)

	単位	H24 計画	H24 実績	達成率	H25 計画	H25 実績	達成率	H26 計画
利用者数	人/月	120	108	90.0	120	147	122.5	120
箇所数	箇所	7	7	100.0	7	7	100.0	7

〔傾向〕

平成24年度は、利用者数が、計画をやや下回っていますが、平成25年度にかけて利用者数が伸びており、計画を大きく上回っています。また、箇所数は、概ね計画どおり推移しています。

## 6 知的障害者福祉ホーム

現に住居を求めている障がい者に対し、低額な料金で、居室その他の設備を利用させるとともに、日常生活に必要な便宜を供与することにより、障がい者の地域生活の支援を行います。

(数値目標)

平成25年度にグループホームへ移行するため、平成24年度で廃止となる見込みです。

(進捗状況)

	単位	H24 計画	H24 実績	達成率	H25 計画	H25 実績	達成率	H26 計画
利用者数	人/月	10	10	100.0	—	10	0.0	—

[傾向]

平成25年度からグループホームへ移行する予定でしたが、施設転用に係る調査等のために、移行が遅れています。

## 7 訪問入浴サービス事業

家庭での入浴が困難な重度の身体障がい者の生活を支援するため、訪問により居宅において入浴サービスを提供し、身体の清潔の保持、心身機能の維持等を図ります。

(数値目標)

これまでの実績を勘案して必要量を見込みます。

(進捗状況)

	単位	H24 計画	H24 実績	達成率	H25 計画	H25 実績	達成率	H26 計画
利用者数	人	24	25	104.2	24	24	100.0	24
利用回数	回/年	953	995	104.4	953	997	104.6	953

〔傾向〕

利用者数、利用回数ともに計画をやや上回っていますが、概ね計画どおり推移しています。

## 8 更生訓練費給付事業

就労移行支援事業又は自立訓練事業にて訓練を受けている身体障がい者に対し、訓練のために必要な費用を支給することで更生意欲を助長し、社会復帰の促進を図ります。

(数値目標)

平成 21 年度から平成 23 年度までの利用人数の平均を平成 24 年度以降の見込量とします。

(進捗状況)

	単位	H24 計画	H24 実績	達成率	H25 計画	H25 実績	達成率	H26 計画
延べ利用人数	人/年	12	0	0.0	12	0	0.0	12

[傾向]

平成 24 年度、平成 25 年度の利用実績は、ありません。

## 9 生活訓練事業

点字の学習を希望する中途失明者に対し、点字指導員を派遣して基本的な点字指導を行います。

(数値目標)

平成21年度から平成23年度までの派遣回数から最大値を平成24年度以降の見込量とします。

(進捗状況)

	単位	H24 計画	H24 実績	達成率	H25 計画	H25 実績	達成率	H26 計画
点字指導員派遣	回	20	6	30.0	20	16	80.0	20

[傾向]

平成24年度、平成25年度ともに計画を下回っていますが、平成24年度から平成25年度にかけて、利用回数が増加している傾向にあります。

## 10 日中一時支援事業

障がい者等の家族の就労支援及び障がい者等を日常的に介護している家族の一時的な休息のため、障がい者等の日中における活動の場を確保する事業です。

(数値目標)

利用者数は、毎年増加していることから、過去3箇年の平均伸び率(9%)により、平成24年度以降の利用者数を見込んでいます。

(進捗状況)

	単位	H24 計画	H24 実績	達成率	H25 計画	H25 実績	達成率	H26 計画
利用者数	人/月	88	95	108.0	96	89	92.7	105

[傾向]

概ね計画どおり推移していますが、実績は徐々に減少している傾向にあります。

## 11 スポーツ・レクリエーション教室開催等事業

障がい者と地域住民が共に楽しめる各種レクリエーションやスポーツ活動の場を提供することにより、障がい者の余暇活動の充実や社会参加の推進を図ります。

(数値目標)

平成21年度から平成23年度における最大値を、平成24年度以降の見込量とします。

(進捗状況)

	単位	H24 計画	H24 実績	達成率	H25 計画	H25 実績	達成率	H26 計画
わいわい塾 運営事業	人	100	75	75.0	100	134	134.0	100
スポーツ教室 開催事業	人	40	56	140.0	40	72	180.0	40

※参加者には、障がい者のほか、ボランティアとしての参加者も含む。

〔傾向〕

平成24年度のわいわい塾の参加者は、計画をやや下回っていますが、そのほかの事業は計画を大きく上回っています。

## 12 奉仕員養成研修事業

聴覚障がい者のコミュニケーションの支援者となる手話奉仕員や要約筆記奉仕員、また視覚障がい者のコミュニケーションの支援者となる点訳奉仕員、音訳奉仕員の養成研修を行います。

(数値目標)

後期行動計画においては、各講習会の定員（180名）で見込んでいましたが、平成24年度以降の見込量については、平成21年度から平成23年度までの各講習会の実績の最大値を見込量としています。

(進捗状況)

	単位	H24 計画	H24 実績	達成率	H25 計画	H25 実績	達成率	H26 計画
手話講習会 (初級)	人/年	30	21	70.0	30	30	100.0	30
手話講習会 (中級)	人/年	25	17	68.0	25	21	84.0	25
手話講習会 (上級)	人/年	15	12	80.0	15	12	80.0	15
要約筆記者養成講習会	人/年	20	9	45.0	20	6	30.0	20
点訳者養成講習会 (初級)	人/年	—	—	—	20	17	85.0	—
点訳者養成講習会 (中級)	人/年	15	8	53.3	—	—	—	15
音訳奉仕者養成講習会 (初級)	人/年	20	20	100.0	—	—	—	20
音訳奉仕者養成講習会 (中級)	人/年	—	—	—	20	—	—	—
合計		125	87	69.6	130	86	66.2	125

〔傾向〕

要約筆記養成講習会の受講者数は、計画を大きく下回っていますが、そのほかの講習会は、概ね計画どおり推移しています。

### 13 自動車運転免許取得・改造費助成事業

自動車運転免許の取得及び自動車の改造に要する費用の一部を助成することにより、就労や社会参加の促進を図ります。

(数値目標)

自動車運転免許取得事業、改造費助成事業ともに増加傾向が見込めない事業であることから、平成21年度から23年度までの最大値を平成24年度以降の見込人数とします。

(進捗状況)

	単位	H24 計画	H24 実績	達成率	H25 計画	H25 実績	達成率	H26 計画
身体障害者用自動車 改造費補助事業	人	8	13	162.5	8	9	112.5	8

[傾向]

平成24年度から平成25年度にかけて対象人数が減少しましたが、計画を大きく上回って推移しています。

#### 14 成年後見制度利用支援事業

判断能力のない障がい者が成年後見制度を利用する場合に、申し立て費用等を給付し、障がい者の地域生活を支援します。

(数値目標)

成年後見制度の推進体制の充実・強化を図り、平成 24 年度移行は 2 名の利用者増を見込みます。

(進捗状況)

	単位	H24 計画	H24 実績	達成率	H25 計画	H25 実績	達成率	H26 計画
利用者数	人/年	5	2	40.0	7	2	28.6	9

[傾向]

平成 24 年度、平成 25 年度ともに計画を下回って推移しています。

## 国の基本指針に基づく数値目標に係る進捗状況

### 1 施設入所者の地域生活への移行

福祉施設に入所している障がい者のうち、グループホーム（共同生活援助）やケアホーム（共同生活介護）、一般住宅等（アパート、自宅、他）に移行する人数を見込み、平成26年度末における地域生活移行者数の目標値を定めます。

#### 【国の基本指針】

平成26年度末に平成17年10月1日時点の施設入所者数の3割以上が地域生活へ移行することを基本とし、これまでの実績及び地域の実情を踏まえて設定する。

また、平成26年度末の施設入所者数を平成17年10月1日時点の施設入所者数から1割以上削減することを基本とし、これまでの実績及び地域の実情を踏まえて設定すること。

#### （数値目標）

平成17年度から平成23年度までの入所施設における地域生活移行者は98名、年平均では14名となることから、平成24年度以降は14名が地域生活移行予定者として見込んでいます。平成26年度までの3箇年で42名となることから、平成17年度以降の地域生活移行者数は140名となり、平成17年度の施設入所者393名に対して35.6%となります。

平成26年度末の施設入所者見込数は313名であり、平成17年度施設入所者数の393名と比較して32名の減（20.4%）となります。

#### （進捗状況）

	単位	H17 実績	H24 計画	H24 実績	達成率	H25 計画	H25 実績	達成率	H26 計画
施設入所者数	人	393	313	314	100.0	313	313	100.0	313
地域生活移行者数	人	16	14	3	21.4	14	11	78.6	14

#### 〔傾向〕

平成24年度、平成25年度ともに、計画を下回っていますが、平成24年から平成25年度にかけて、人数が徐々に増加している傾向にあります。

（参考：年度別地域生活移行者数）

年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	合計 (A)	平均 (A) ÷ 7
地域生活移行者数	16	9	25	20	20	4	4	98	14

## 2 福祉施設の利用者の一般就労への移行

福祉施設利用者のうち、就労移行支援事業等を通じて平成 26 年度中に一般就労への移行する者の人数について目標値を定めます。

### 【国の基本指針】

福祉施設の利用者のうち、就労移行支援事業等を通じて、平成 26 年度中に一般就労に移行する者の数値目標を設定する。目標の設定に当たっては、平成 17 年度の一般就労への移行実績の 4 倍以上とすることが望ましい。

### (数値目標)

平成18年度から平成23年度までの6年間で66名が一般就労に移行していることから、平成24年度以降は毎年11名が一般就労に移行すると見込みます。国の基本指針に基づき、平成26年度中の福祉施設から一般就労への移行者が、平成17年度の一般就労への移行実績の4倍以上となることを数値目標として設定します。

なお、平成17年度における福祉施設から一般就労移行の実績はありません。

### (進捗状況)

	単位	H24 計画	H24 実績	達成率	H25 計画	H25 実績	達成率	H26 計画
一般就労 移行	人	11	10	90.9	11	34	309.1	11

### 〔傾向〕

平成 24 年度は、概ね計画どおりでしたが、平成 25 年度は、計画を大きく上回っています。

### 3 就労移行支援事業の利用者数

平成 26 年度における福祉施設利用者のうち、就労移行支援事業の利用者について目標値を定めることとします。

#### 【国の基本指針】

平成 26 年度末における福祉施設の利用者のうち、2 割以上の者が就労移行支援事業を利用することを目指す。

#### (数値目標)

利用者数については、生活介護、就労継続支援 A 型・B 型の利用見込数を合算したものと なっています。目標数値が 26 年度見込数の 2 割以上が就労移行支援事業を利用するという設定ですが、当市の就労移行支援事業所そのものが少ないことから、定員を最大数として目標値を設定します。

平成 24 年度において、就労移行支援事業所が 1 箇所増となることから、平成 23 年度見込利用者 21 名に定員 10 名が新たに利用するものとし、平成 24 年度以降は 31 名で推移するものと見込んでいます。

#### (進捗状況)

	単位	H24 計画	H24 実績	達成率	H25 計画	H25 実績	達成率	H26 計画
福祉施設利用者数	人	1,226	1,342	109.5	1,317	1,396	106.0	1,377
目標数値	人	31	34	109.7	31	45	145.2	31

#### 〔傾向〕

平成 24 年度、平成 25 年度は、ともに目標数値を上回っており、概ね計画どおり推移しています。また、就労移行支援の利用者数は、徐々に増加している傾向にあります。

#### 4 就労継続支援 A 型事業の利用者の割合

平成 26 年度末における就労継続支援事業利用者のうち、就労継続支援 A 型事業を利用する者の数について目標値を設定します。

##### 【国の基本指針】

平成 26 年度末において、就労継続支援事業の利用者のうち 3 割は就労継続支援 A 型事業を利用することを指すとしています。

##### (数値目標)

平成 25 年度に就労継続支援 A 型事業の施設が 1 箇所増となりますが、雇成型であることから利用者、施設数ともに増加は見込めない事業となっております。

平成 26 年度における就労継続支援事業の利用者は 645 名であり、そのうち就労継続支援 A 型事業の利用見込者は 35 名で、就労継続支援 A 型事業利用者の割合は 5.4% となっております。

##### (進捗状況)

	単位	H24 計画	H24 実績	達成率	H25 計画	H25 実績	達成率	H26 計画
就労継続支援事業 利用者数	人	542	590	108.9	612	610	99.7	645
就労継続支援 A 型 の利用者数	人	25	20	80.0	35	32	91.4	35

##### 〔傾向〕

就労継続支援事業の利用者数は、計画をやや下回っていますが、就労継続支援 A 型の利用者数は、徐々に増加している傾向にあります。